

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルヤ金属

コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古屋 堯民

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 榎田 裕之

TEL 03-5977-3377

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	6,271	△22.4	589	31.6	638	42.6	404	—
26年6月期第1四半期	8,085	25.7	447	36.9	447	47.8	△2,900	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	56.55	56.34
26年6月期第1四半期	△405.33	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	22,907	14,229	62.0
26年6月期	22,230	14,109	63.3

(参考)自己資本 27年6月期第1四半期 14,191百万円 26年6月期 14,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,885	△5.2	950	119.6	900	98.2	580	—	81.01
通期	28,200	3.0	2,150	75.0	2,050	64.1	1,320	—	184.38

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期1Q	7,265,212 株	26年6月期	7,265,212 株
27年6月期1Q	104,734 株	26年6月期	105,934 株
27年6月期1Q	7,265,212 株	26年6月期1Q	7,265,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、米国経済の順調な回復などを背景に急激な円安が進行したことで、輸出環境の改善期待から株式市場も活況を呈したものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動と天候不順による個人消費の伸び悩みに加え、円安に伴う原材料価格の上昇、中国経済の減速感、緊迫する中東やウクライナ情勢、並びに人手不足の深刻化など先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境の中、各種電子部品や半導体の市況は、スマートフォンやタブレット端末関連需要に支えられて好調を維持し、リチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボや半導体製造装置向け温度センサーの受注も堅調に推移しました。また、人工サファイア単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が回復し、サーバー向け需要などを背景にHD向けルテニウムターゲットの受注も回復基調が続きました。一方、一部の貴金属価格の下落に伴い、たな卸資産の評価減を実施し、製造原価に54百万円を計上いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間において、売上高6,271百万円(前年同四半期比22.4%減)、売上総利益1,114百万円(前年同四半期比22.6%増)、営業利益589百万円(前年同四半期比31.6%増)、経常利益638百万円(前年同四半期比42.6%増)、四半期純利益404百万円(前年同四半期は、2,900百万円の四半期純損失)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

前年同四半期比貴金属価格の下落から販売単価は下がったものの、スマートフォンなどのノイズキャンセラー(SAWデバイス)に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けのイリジウムルツボの受注が好調に推移したほか、LED基板に使用される人工サファイア単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が回復し、売上高3,425百万円(前年同四半期比39.3%減)、売上総利益824百万円(前年同四半期比32.6%増)となりました。

[薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注は伸び悩んだものの、HD向けルテニウムターゲットは、サーバー向けの需要などから受注が回復し、売上高1,357百万円(前年同四半期比12.0%増)、売上総利益173百万円(前年同四半期比39.0%増)となりました。

[センサー]

台湾などの海外半導体メーカーからの受注が好調に推移したほか、半導体製造装置メーカーからの受注も堅調に推移し、売上高379百万円(前年同四半期比18.9%増)、売上総利益119百万円(前年同四半期比45.4%増)となりました。

[その他]

有機EL向け貴金属化合物の受注は好調に推移しましたが、使用済み電極の回収精製や化学・化成品プラント向けの貴金属化合物の受注が伸び悩み、新規事業に伴う先行投資負担もあって、売上高1,109百万円(前年同四半期比21.8%増)、売上総利益50百万円(前年同四半期比36.2%減)となりました。

②海外売上

当第1四半期累計期間における輸出売上高は1,451百万円(総売上高に占める割合は23.1%)となりました。

地域別にはアジア向け輸出売上高849百万円(海外売上高に占める割合は58.5%)、北米向け輸出売上高590百万円(海外売上高に占める割合は40.7%)、欧州向け輸出売上高11百万円(海外売上高に占める割合は0.8%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は22,907百万円(前事業年度末比677百万円の増加)、負債は8,678百万円(前事業年度末比557百万円の増加)、純資産は14,229百万円(前事業年度末比119百万円の増加)となりました。

①流動資産

当第1四半期会計期間末における流動資産残高は12,719百万円となり、前事業年度末比934百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が168百万円、たな卸資産が621百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第1四半期会計期間末における固定資産残高は10,187百万円となり、前事業年度末比257百万円減少いたしました。これは長期繰延税金資産が213百万円減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第1四半期会計期間末における流動負債残高は6,075百万円となり、前事業年度末比822百万円増加いたしました。これは短期借入金が600百万円増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第1四半期会計期間末における固定負債残高は2,602百万円となり、前事業年度末比265百万円減少いたしました。これは長期借入金が271百万円減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期会計期間末における純資産残高は14,229百万円となり、前事業年度末比119百万円増加いたしました。これは繰越利益剰余金が116百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、「平成26年8月6日付平成26年6月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で発表しております計画から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	701	869
受取手形	82	105
売掛金	3,357	3,435
商品及び製品	755	1,309
仕掛品	734	1,162
原材料及び貯蔵品	5,164	4,803
前払費用	47	51
繰延税金資産	674	659
関係会社短期貸付金	101	115
未収消費税等	161	199
その他	5	8
流動資産合計	11,785	12,719
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,541	2,505
構築物(純額)	50	48
機械及び装置(純額)	3,273	3,262
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	40	42
土地	1,612	1,612
リース資産(純額)	62	60
建設仮勘定	902	910
有形固定資産合計	8,482	8,441
無形固定資産	103	99
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
関係会社株式	117	117
保険積立金	19	21
長期前払費用	5	4
繰延税金資産	1,649	1,435
その他	60	60
投資その他の資産合計	1,858	1,646
固定資産合計	10,444	10,187
資産合計	22,230	22,907

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,980	2,271
短期借入金	800	1,400
1年内返済予定の長期借入金	1,735	1,635
リース債務	30	29
未払金	255	355
未払法人税等	27	11
賞与引当金	154	100
役員賞与引当金	25	—
設備関係未払金	79	64
前受金	93	45
その他	70	161
流動負債合計	5,252	6,075
固定負債		
長期借入金	2,079	1,807
リース債務	40	37
長期未払金	406	406
退職給付引当金	322	331
資産除去債務	15	15
その他	4	4
固定負債合計	2,868	2,602
負債合計	8,121	8,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本準備金	5,414	5,414
利益準備金	9	9
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	3,442	3,559
自己株式	△319	△316
株主資本合計	14,071	14,191
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
評価・換算差額等合計	△1	△1
新株予約権	38	38
純資産合計	14,109	14,229
負債純資産合計	22,230	22,907

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	8,085	6,271
売上原価	7,177	5,157
売上総利益	908	1,114
販売費及び一般管理費	460	524
営業利益	447	589
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	6	68
デリバティブ評価益	1	—
雑収入	9	17
営業外収益合計	17	86
営業外費用		
支払利息	18	15
デリバティブ評価損	—	22
雑損失	0	0
営業外費用合計	18	37
経常利益	447	638
特別損失		
たな卸資産評価損	3,325	—
特別損失合計	3,325	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△2,878	638
法人税、住民税及び事業税	4	4
法人税等調整額	18	228
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,900	404

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	5,643	1,212	318	911	8,085
セグメント利益	622	124	82	78	908

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	3,425	1,357	379	1,109	6,271
セグメント利益	824	173	119	50	1,168

(注) セグメント利益の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第1四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致しておりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,168
たな卸資産評価減	△54
財務諸表の売上総利益	1,114